

**道農連****2020年3月の月間活動トピックス**HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416**第1回業態別対策委員会で春闘対策方針などを協議**

道農連は3月25日に第1回米・水田農業対策委員会、26日に畑作・野菜対策委員会、27日に酪農・畜産対策委員会を開催し、対策副委員長を選出し、2020年度春闘対策方針などについて協議した。今後は6月上旬の第2回業態別対策委員会で提言項目を取りまとめ、6月下旬の第3回執行委員会で提言項目を最終決定し、中央行動を展開する。なお、各委員会の詳細は以下の通り、

〈米・水田農業対策委員会〉

米・水田農業対策委員会（大久保明義対策委員長）では、対策副委員長に全上川農連の吉田清氏を選出した。春闘対策に向けては、主食用米の作付け過剰などにより米の需給緩和・価格下落が懸念されていたため、①実効性のある米の需給調整・価格安定政策の構築、②水田農業の維持・発展に資する基本政策の確立などの4つを重点項目とすることとした。

〈畑作・野菜対策委員会〉

畑作・野菜対策委員会（増田俊司対策委員長）では、対策副委員長に全十勝農連の竹迫真樹氏と全上川農連の瀬川明宏氏を選出した。春闘対策に向けては、畑作対策として、食料・農業・農村基本計画の実効性の確保対策や畑作物構造転換事業の内容改善や予算確保など、野菜対策として、シロシスト対策への取組、野菜価格安定制度の拡充強化などの運動を展開していくこととした。

〈酪農・畜産対策委員会〉

酪農・畜産対策委員会（西原正行対策委員長）では、対策副委員長に北見地区農連の梅田俊則氏を選出した。春闘対策に向けては、相次ぐ大型国際貿易協定発効により畜産物国内需給や生産者価格に影響を及ぼすことが懸念されていた。また、新たに策定された酪肉近で示された生産目標数量の達成に向けた政策支援が求められていた。このため、重点対策課題を大型国際貿易協定の的確な影響分析の実施と万全な国内政策の確立などとし、政策提言項目のたたき台を協議した。

3月の活動記録（上記以外）

- 3日 合成洗剤追放北海道連絡会 2020 年度総会→新型コロナウイルスの影響により延期
- 5日 道てん菜協会企画調整部会
- 11日 第3回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会→新型コロナウイルスの影響により中止

4月の活動予定

- 3日 道農業青色申告会事務局会議
- 7日 経営調査現地打ち合わせ（東鷹栖）
- 8日 経営調査現地打ち合わせ（土別）
- 15日 アジア・アフリカ支援米現地打ち合わせ（由仁町）
- 16日 天北地区農民連盟定期総会
- 17日 三役会議、第2回執行委員会
- 21日 第11回道農業青色申告会定期総会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料 1,800 円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（☎011-241-5416）まで。